

道路



June ● Vol. 855

Road Engineering & Management Review



北国街道木ノ芽峠（板取宿；南越前町）



特集 津波・防災・まちづくり

地域いきいき:中国

夢街道ルネサンス：ながと大内 湯けむり街道



河添 歳弘 KAWAZOE Toshihiro
ながと大内湯けむり街道協議会代表

古の歴史の道 あかまがせき 赤間関街道北道筋

赤間関街道は山口県の萩市と赤間関（下関市）を結ぶ旧街道で、萩市明木を経由する『中道筋』、下関市川棚を経由する『北浦道筋』、江戸時代には俵山を経由する『北道筋』が開かれ、三つの街道より形成されており、萩往還と同様に山陰と山陽を結ぶ主要な街道として利用されてきました。

長門市には赤間関街道が、萩から一本の道として通ってきており、長門市で豊田経由の『北道筋』と北浦周りの『北浦道筋』に分岐し、各々が赤間関（下関市）に通じています。

北道筋の沿線には、かつて西国随一の戦国大名と称された大内義隆が、陶隆房の謀反により追われ、後に北道筋となるこのルートを通して辿り着いた大寧寺があります。その大寧寺は曹洞宗の古刹で、創建は応永17年（1410年）と伝えられ、前述の大内義隆終焉の地となりました。また、主従の墓や防長三奇橋の一つの磐石橋、十六羅漢像などがあり、春の桜、秋のもみじの名所でもあります。また、旧参道には赤い胸当ての野仏がほほえんでおり、訪れる人の心を和ませてくれます。

また、住吉大明神のお告げから発見されたといわれている湯本温泉と、その昔、薬師如来の化身の白猿が傷を癒したといわれる俵山温泉があり、両温泉とも江戸時代、毛利藩主が度々訪れた湯治場として栄えてきました。

大寧寺からほど近い湯本温泉街は、音信川のせせらぎの兩岸に立ち並んでおり、昔、叶わぬ恋に落ちた湯女たちが橋の上からそっと恋文を流したというロマンチックな言い伝えも残されています。音信川には下流の河川公園を基点に、兩岸に遊歩道が整備されて、せせらぎの中に時折聞こえるカジカの鳴き声を聞きながら、浴衣姿で下駄履きの散策も情緒があります。散策路の中ごろには



位置図

足湯もあり、二人の想い叶う場所として、平成18年に『恋人の聖地』に認定されています。

一方、俵山温泉は正川沿いに旅館が並び、明治・大正文化がそのまま残っており、素朴でひなびた風情をかもしだしております。俵山温泉周辺にはつつじと桜の名所『熊野山公園』、子宝や健康増強の願いが叶うと言われている『麻羅観音』があります。ちょっと足をのばすと紅葉の美しい『五段の滝』や『七段の滝』、約3万本のシャクナゲが色とりどりの花を咲かせる『俵山シャクナゲ園』に行くこともできます。

このほか沿線には、落差13mの『千代の滝』、紅葉の美しい『西念寺』、西の高野としてその名を知られ弘法大使の建立といわれる『能満寺』などがあります。

これらの名所や史跡などのある北道筋の湯本俵山間は平成22年度に『ながと大内湯けむり街道』として夢街道ルネサンスに登録されました。

北道筋の旧街道は交通形態の変遷により徐々にその姿を失いつつあります。その役目を引き継ぎ大正14年に完成した主要県道下関長門線は急峻な山々をぬうように走っており、度々災害が発生し、その都度地域が孤立す



る事態に見舞われてきました。

長門・俵山道路の事業に始まり、地域住民の積年の願いである『安全で安心な道』その槌音がようやく聞こえるようになりました。

夢街道ルネサンス認定初年度の活動状況

湯本温泉を訪れたお客さんから、「近くに2～3時間歩けるところはないの？」と尋ねられたのをきっかけに、『自然とふれあう探索ルートづくり』に取り組みました。

場所は、赤間関街道北道筋（湯本一俵山間）の、大寧寺-柿の木原-大寧寺頂上付近です。この区間約2.3キロは、現在も整備をすることにより散策ルートとして活用できるため、地域の人や子どもたちと一緒に探索し、街道の歴史的背景や動植物の生態・植生を専門家から学び、今後の活用方法や維持管理について検討することを目的に実施しました。

●第1回〔平成23年11月19日（土）〕旧街道探索及び歴史学習会、ワークショップ

・歴史学習会：講師 岡藤正作さん（元長門市教育委員会文化財保護指導員）

・ワークショップ：テーマ「この街道をどうしていきたいか。自然とふれあう散策ルートづくり」進行 船崎美智子さん

感想：街道の整備や安全面についての意見、また活用方法として、隠れ家や秘密基地・森の遊園地をつくろう、木を使ってベンチや巣箱を作ろうなど、子ども達の夢や希望がたくさん出てきました。その中で一番多かったのが“案内板があると良い”という意見でした。



街道の調査測量



街道散策



ワークショップ開催

●第2回〔平成24年1月8日（日）〕案内看板づくり及び設置場所の確認（2グループに分かれ作業）

案内看板づくり：テーマ「自分で見て気づいたことや誰かに伝えたいこと」指導 和田あいこさん

感想：それぞれの思いが詰まった素敵な手づくり案内板が、たくさん出来ました。



案内板完成

●第3回〔平成24年2月12日（日）〕自然観察学習会及び案内看板設置作業

自然観察学習会：講師 樹木医 中村裕三さん

感想：樹木医さんに、樹木が環境保護に役立っていること、樹木の種類や葉の特徴、森林浴の効果などにつきたくさんのことを教えていただきました。そして各自で作った案内板を自分で取り付けて行きました。



自然観察会

案内板設置完了

実施効果として、今回活動したのは旧街道の一部ですが、散策コースとして大人から子供まで歩けることが確認でき、自然観察をしながら歩くのに適したコースであることがわかりました。また、ワークショップや学習会を通じて、街道のこれからを考えたことや自然を守ることの大切さを学んだことで、子供にも大人にも心に残るものとなり、今後の活動にも繋がる第一歩となりました。そして、自分が暮らしている地域を改めて知ることにより、新しい発見と地域を愛する心が育まれたと思います。

今後の取り組みとしては、湯本一俵山を結ぶ旧街道・現道・未来の道を利用して、地域で活動する団体と連携して散策ルートを広げ、定期的に自然や歴史、文化とふれあうイベントを開催していきたいと考えています。

※夢街道ルネサンスについてはホームページでも紹介しています。